

弘前大学学報



平成26年度学位記授与式

第 132 号
平成27年 3月号

目 次

学内ニュース

○平成26年度弘前大学学位記授与式	-----	1
○平成26年度弘前大学学位記授与式告辞 弘前大学長 佐藤 敬	-----	3
○平成26年度弘前大学大学院学位記授与式告辞 弘前大学長 佐藤 敬	-----	5
○平成26年度 COI STREAM および「岩木健康増進プロジェクト」報告会開催	-----	6
○平成26年度弘前大学学生表彰授与式を举行	-----	7
○平成26年度弘前大学 COC シンポジウムを開催	-----	8
○文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成プログラム 「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成26年度修了式を举行	-----	9
○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 「平成26年度学都弘前学生地域活動事業成果発表会」を開催	-----	10
○平成26年度弘前大学情報セキュリティセミナーを開催	-----	11
○食品に応用できるユニークな新規プロテオグリカン複合体の開発	-----	12
○「東日本大震災からの地域振興を考える ～弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会～」を開催	-----	13
○弘前大学大学院地域社会研究科「地域フォーラム」を開催	-----	14
○弘前大学永年勤続者表彰式を举行	-----	15
○黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・田舎館村教育委員会との連携協定締結	-----	17
○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成26年度弘前市長と加盟大学長との懇談会開催	-----	18
○弘前大学八戸サテライト短命県返上「健康講座」開催	-----	19

諸 会 議	-----	20
-------	-------	----

人 事

○人事異動	-----	24
-------	-------	----

主要日誌	-----	29
------	-------	----

学内規則	-----	30
------	-------	----

平成26年度弘前大学学位記授与式

3月24日（火）、平成26年度「弘前大学学位記授与式」及び「弘前大学大学院学位記授与式」が来賓、関係者出席の下、厳かに行われました。

「弘前大学学位記授与式」は第1部、第2部の二部制で行われ、第1部（人文学部、教育学部）が11時から、第2部（医学部、理工学部、農学生命科学部）が13時30分から執り行われました。

始めに、佐藤学長から学位記が各学部のそれぞれの代表の学生に授与されたのに続き、学長による告辞、そして卒業生が答辞を述べ、式典を終えました。

式典終了後は、記念写真に収まるグループや後輩達から胴上げの祝福を受けるグループなどで、弘前市民会館は祝福ムードでいっぱいとなりました。

また、「弘前大学大学院学位記授与式」は同日9時から創立50周年記念会館 みちのくホールにて、教育学部附属学校園の卒業式は、小学校が3月15日（日）、中学校が3月13日（金）、特別支援学校が3月11日（火）、幼稚園が3月7日（土）に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

○弘前大学

学士学位記

人文学部	319名
教育学部	211名
医学部医学科	115名
医学部保健学科	188名
理工学部	289名
農学生命科学部	172名
計	1,294名

○弘前大学大学院

修士又は博士前期学位記

人文社会科学研究科（修士）	9名
教育学研究科（修士）	33名
保健学研究科（博士前期）	25名
理工学研究科（博士前期）	83名
農学生命科学研究科（修士）	37名

博士又は博士後期学位記

医学研究科（博士）	32名
保健学研究科（博士後期）	4名
理工学研究科（博士後期）	5名
地域社会研究科（博士後期）	3名

論文博士

医学研究科	1名
保健学研究科	1名
地域社会研究科	1名
計	234名

○附属学校園

小学校	102名
中学校	187名
特別支援学校	14名
幼稚園	30名
計	333名

平成26年度弘前大学学位記授与式

告辞

弘前大学長 佐藤 敬



本日ここ弘前市民会館において、多くのご来賓とご家族のご臨席の下、平成二十六年年度の学位記授与式を挙げるにあたって、一言告辞を述べさせていただくことは私にとって大きな喜びとするところであります。それは、皆さんが勉学のみならず、学生生活のすべてを通して成長を遂げ、社会に羽ばたこうとしていることを幸いに思うが故の喜びであり、その意味で、皆さんの卒業を心からお祝いしたいと思います。皆さん、卒業おめでとうございます。

さて、最近特に、我が国社会の近未来に関して、人口の減少と高齢化や、地方の衰退などの問題が提起されています。そのために私たちのできることは何かを考える時、私自身は無力感を感じざるを得ません。しかしながら、皆さんは、そうであってはならないばかりか、私自身の世代も、前向きにできることを考える必要があると思います。人口の高齢化には、長寿という、人類が常に希求してきた目標を、我が国が世界に先駆けて達成していることも一つの要因になっているのは間違いありません。一方で、そのことは、若い皆さんにとってこの先には大きな可能性と責務が横たわっていることを意味しています。皆さんの今後の行く末はさまざまでしょうが、それぞれの立場や活躍の領域にあって、社会への貢献を目指し、果敢に挑戦していただきたいと願っています。もちろん、挑戦が常に実を結ぶとは限らず、時には失敗もあるかもしれません。しかし、皆さんの持っている大きな可能性は、如何なる失敗によっても簡単に崩れるようなものではありません。例え失敗があったとしても、大切なのは、それを通して学ぶことであり、その教訓を将来に活かすことです。その意味で、自らの努力を失敗に終わらせるか否かは、皆さん自身にかかっているものであり、身の回りの環境や現実の結果が本質を左右することではないのです。どうか、失敗を恐れず、創造性を発揮することへの挑戦を忘れないでいただきたいと思います。

私事ですが、この学位記授与式において告辞を述べることも四度目となりました。弘前大学教員として奉職させていただいてからは、四〇年になろうとしています。この間の経験を総括するとすれば、個人の、そして人類全体の歴史の中では、未経験、未曾有の事柄が数多く起こるものと今や認識しています。例えば、東日本大震災は、日本国民全体の対応が問われ、或いは特定の価値観の変更を迫られるかもしれない、最大の出来事であったのは間違いありません。震災対応の是非や、復興の成果の可否に関する判断は多様だと思いますが、少なくとも、災害や悲劇から力強く立ち直ろうとする、コミュニティーの、或いは社会全体の強い意志が最も大切であることを、私たちが学んだのは事実です。

残念ながら、この先も皆さんの前途に何があるかを正確に予測することは不可能であり、想定外の出来事があるかもしれません。しかしながら、社会が大きな出来事に直面した時、皆さんがその対応をリードしていくべき人々であることは間違いありません。皆さんは、それに備えて学び、成長して来ましたが、その歩みを決して止めないようにと願っています。不確実な時代にあつて、皆さんには、未来を力強く担うリーダーとしての自覚をしっかりと持って下さるよう社会は希望しています。

ここまで、皆さんの卒業を祝う言葉としては、いささか明るさを欠くものになったかもしれませんが、

皆さんの眼前には、洋々たる前途があることに間違いありません。皆さんのこれまでの努力を大いに称えるとともに、輝かしい未来に向けて船出しようとしている皆さんに、重ねて、大きな祝意を表します。皆さんはこれまで長きにわたって学ぶことのできた幸福と感謝の念を忘れず、そして、今後も学びの歩みを決して止めることのないよう心からの激励を送ります。

終わりに、本日卒業される弘前大学生を今日まで支えて下さった、ご家族の方々や弘前市民の方々をはじめ、多くの方々に私からも感謝を申し上げます。そして、卒業生の皆さんにとっては、弘前大学で学んだ青春の一時期が、他のなにものにも代え難い良い思い出としていつまでも心の中にとどまることを願うものです。最後に最も大切な一言を申し上げます。なにより、皆さんの今後のご健勝とご多幸を心からお祈りして、告辞といたします。



平成26年度弘前大学大学院学位記授与式

告辞

弘前大学長 佐藤 敬



本日、ここ弘前大学五十周年記念会館みちのくホールにおいて、平成二十六年年度の大学院学位記授与式を挙げるにあたって、告辞を述べさせていただくことは、私にとって大きな喜びとするところであります。まずもって、本日大学院を修了し、学位を取得された皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、誠におめでとうございます。

我が国では現在、おおよそ半数の若者が大学に進学しており、大学教育が一般的になりつつあるとも言えます。また、学問は日々進歩の度合いを大きくしており、新たな学問が生まれると共に、個々の領域はますます拡大と深化を遂げています。そのような中で、真の高等教育の場として、大学院の役割が徐々に大きくなっているのは事実であり、近未来社会にあつてはその傾向がますます強くなるものと思います。したがって皆さんは、高度な学問を修める人々の中の先駆者であります。是非、大学院における成果を社会において遺憾なく発揮するよう、決意を新たにさせていただきたいと思ひます。また、皆さんの中には大学院後期過程に進学される方々も居られますが、その方々はもちろん、すべての皆さんが、今後も引き続き学問を続けていくことを明確に意識させていただきたいと思ひます。

皆さんの中には、外国から留学された方々も居られます。異国での生活と勉学には大きな困難もあつたことと推察します。しかし、今となつてはそのことも、皆さんにとって幸いな部分もあつたかと思ひますが、そんな中で学位取得を果たされたことを大いに称えます。今後は帰国される方や引き続き留まる方などさまざまでしょうが、弘前大学で学ばれた経験を忘れることなく、皆さんの本国と我が国との懸け橋であり続けていただくよう願っています。

本日修了される皆さんがこれまで長い年月にわたつて学び続けて来られ、本日めでたく学位を取得されたことは、第一に皆さん自身の大きな努力の結果であることは間違いありません。加えて、ご家族や学友、そして指導教員をはじめとする教職員はもちろんのこと、広く社会からの大きな支援があつたことを忘れないで下さい。大学院において身に付けた知識、技能、経験などを存分に活かし、我が国や世界のリーダーとして、力強く活躍していただくことを社会は希望しています。

皆さんの今後の活躍のためには、これまで育てて来られた皆さん自身を大切にさせていただくことが、なにより必要です。自らを大切にすることには、今後、より一層研鑽を積まれることが含まれます。本日、修士または博士の学位を取得された皆さんの、ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げて、告辞といたします。

平成26年度 COI STREAM および「岩木健康増進プロジェクト」報告会開催

平成27年3月2日（月）、弘前大学 創立50周年記念会館において本学の学内教職員を対象とした平成26年度 COI STREAM および「岩木健康増進プロジェクト」報告会を開催しました。

本報告会は、文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択された、本学と企業及び自治体等で組織する「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発（略称：革新的「健やか力」創造拠点）」をテーマとした研究拠点の活動を推進するにあたり、本学内での協力体制を強化する場として開催しました。

当日は、研究リーダーである COI 研究推進機構 中路重之 副機構長（大学院医学研究科長・教授）から COI 事業の説明を行い、続いて COI 研究推進機構次世代健康科学イノベーションセンター 高橋一平 副センター長（大学院医学研究科・准教授）が岩木健康増進プロジェクトの説明を行いました。

その後、COI 研究推進機構 村下公一 機構長補佐が加わり、質疑応答を兼ねた参加者とのディスカッションを行い、参加者からは COI 事業・岩木健康増進プロジェクトに関するご質問とご意見を頂戴しました。

今後も本拠点では全学で団結した研究活動を取り組み続けてまいります。



報告する中路副機構長（医学研究科長）



報告する高橋准教授

平成26年度弘前大学学生表彰授与式を挙行

本学では、研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生及び学生団体を表彰する学生表彰授与式を、3月3日（火）事務局3階大会議室で行いました。

今回の受賞者は、課外活動等で活躍した4団体、研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生21名で、表彰式には各研究科長・学部長、指導教員及びサークル顧問の教員も出席し、佐藤学長から学生1人ひとりに表彰状と記念品が贈呈されました。

佐藤学長から、「課外活動や研究活動を通して様々な場面で活躍して本学の名を高めていることを誇りに思う。団体の成果であれ個人の成果であれ、周囲の仲間・教職員のサポートがあつて、この日の表彰を迎えているということを理解し、今後もそれぞれの活動に励み、より多くの本学学生の模範となつてほしい。」と学生の功績を讃える言葉が贈られました。

受賞者を代表して、教育学部生涯教育課程3年の山形真由佳さんが「私たちの日頃の活動が認められ表彰されるということが非常に嬉しく誇りに思う。学内外での活動が、佐藤学長はじめ、多くの大学関係者の方々に支えられているということもあらためて強く感じた。今後も、自分たちが弘前大学の学生であるという誇りと自覚を持って、それぞれの活動に精進していきたい。」と謝辞を述べました。



佐藤学長（前列右から6人目）と受賞者ら

平成 26 年度弘前大学 COC シンポジウムを開催

本学では 3 月 3 日（火）、「平成 26 年度弘前大学 COC シンポジウム」を弘前大学創立 60 周年記念会館 コラボ弘大八甲田ホールで開催しました。

このシンポジウムは、平成 26 年度に文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」に採択された本学の「青森ブランドの価値を創る地域人財の育成」に関連して、「地域の視点から教育改革を考える」をテーマとして開催され、教職員や学生、自治体関係者ら約 100 名が参加しました。

シンポジウムでは、佐藤学長による開会挨拶の後、講師として山形大学から理事・副学長の安田弘法氏を招き、「地域の大学とその教育について」と題した基調講演が行われ、山形大学における COC 事業の取組や実例などが紹介されました。

続いて「ユニバーサルな視点を持って地域課題解決に取り組む人材とは」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、講師の安田氏のほか、伊藤教育担当理事、NPO 法人理事長の米田大吉氏、人文学部 4 年の田中雄大さんがパネリストを務め、本学の教育における今後の取組や、地域が必要とする人財育成などについて発表が行われた後、参加者との間で活発に意見が交わされました。



山形大学理事・副学長 安田弘法氏



NPO 法人理事長 米田大吉氏



伊藤教育担当理事



人文学部 4 年 田中雄大さん

平成26年度文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業
地域再生人材創出拠点の形成プログラム
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成26年度修了式を挙

本学では3月6日（金）、平成26年度文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業地域再生人材創出拠点の形成プログラム「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」の修了式を弘前市のホテルニューキャッスルで挙

行しました。平成22年度に文部科学省の事業に採択されスタートした同育成計画では、原子力施設などが立地する青森県の被ばく医療を担う人材育成に取り組んできており、これまでの修了生は第4期生までで計31名となりました。

平成24年4月入講の第3期生12名は3年過程、平成25年4月入講の第4期生7名は2年過程の中でそれぞれ科学・医科学コースに分かれ、被ばく放射線化学や放射線計測演習などの科目を履修後、アメリカ・韓国の被ばく医療専門機関での研修を受講し、実践的な演習に参加しました。

修了式では佐藤敬学長より、「学んだことが今後の仕事の一助となり、県民の安全安心の確保に貢献すること、地域の発展への大きな力になることを願う」と式辞が述べられ、また、三村青森県知事（奈須下青森県健康福祉部医療薬務課課長代理代読）の挨拶、(独)放射線医学総合研究所明石理事から祝辞が行われました。修了生からは、第3期生の青森地域広域消防事務組合中央消防署油川分署勤務 沼山章さんが「この計画で培った人のつながりを大切に、本県の被ばく医療発展に貢献できるようにしたい」と、第4期生の青森県立中央病院看護部勤務 阿部あゆみさんは「被ばく医療に関わる関係者と顔の見えるネットワークづくりを図りながら、本県の被ばく医療発展に貢献できるようにしたい」とそれぞれの決意を語りました。

修了式後は、授業担当者・事業関係者を交え、和気藹々とした雰囲気の中で、情報交換会が行われました。



修了証書授与



佐藤学長（前列右から6人目）と修了者ら

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
「平成26年度学都弘前学生地域活動事業成果発表会」を開催

本学を含む弘前市内の6大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムでは、「平成26年度学都弘前学生地域活動事業成果発表会」を弘前市と共催で、3月7日（土）に弘前大学創立50周年記念会館2階の岩木ホールで開催しました。

この発表会では、弘前市が学生団体の地域活動を促進し、学生ならではのアイデアを地域振興につなげることを目的として実施した「学生地域活動支援事業」に今年度採択された7つの学生団体の代表から、実施したいろいろな地域活動の成果が報告されました。

当日は、弘前市民をはじめ6大学の教職員、学生ら約40名が参加し、各団体の発表内容を熱心に聞いていました。また、本コンソーシアム事務局長である大河原 隆理事（社会連携担当）・副学長からの講評では、学生達には今後もこのような地域活動をとおして弘前市に「足跡」をたくさん残してほしい、との期待が述べられました。

この学生地域活動支援事業は、平成27年度も実施される予定です。



成果発表をする学生



大河原 隆理事（社会連携担当）・副学長

平成26年度弘前大学情報セキュリティセミナーを開催

本学では3月9日(月)、「平成26年度弘前大学情報セキュリティセミナー」を弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大八甲田ホールで開催し、教職員ら約40名が参加しました。

このセミナーは、教職員や学生の情報セキュリティに関する意識の向上を目的に実施しており、今年度はBCMS、ISO27001、Green ICTなどの、先進的な情報セキュリティマネジメントシステムを運用している国立大学法人宇都宮大学より、学長補佐・総合メディア基盤センター長の永井明氏を招き、ご講演いただきました。

講演では、「宇都宮大学における情報セキュリティマネジメント」をテーマとして、大学の貴重な経営資源である情報資産を、より便利に、より安心して活用していくための情報管理体制や、具体的な組織的事例及びインシデント緊急対応事例等について説明がありました。

さらに、セミナー終了後には懇談会が行われ、両大学の情報基盤や情報セキュリティマネジメント体制について活発な議論が交わされました。



宇都宮大学学長補佐
総合メディア基盤センター長 永井明氏



質問する佐藤学長

食品に応用できるユニークな新規プロテオグリカン複合体の開発

本学とサンスター株式会社は、サケ鼻軟骨を原料に、高い機能性を持った「プロテオグリカン」に着目して、共同研究を行ってきました。

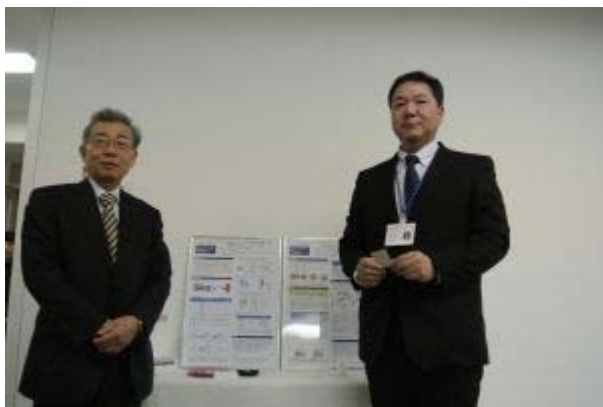
その中で、紫外線による肌のダメージを防ぐ「新規プロテオグリカン複合体」（ヒアルロン酸やコラーゲンとの複合体）を抽出することに成功しました。

この研究成果について紹介するため、3月10日（火）に、サンスター東京芝オフィスにて、両者の共同で記者発表会を開催しました。

記者発表会では、まずサンスター株式会社の大岡眞理子取締役から「包括連携の経緯および健康事業と今回の共同研究について」の説明の後、本学教育学部の加藤陽治特任教授より「新規プロテオグリカン複合体開発について」、続いてサンスター株式会社の後藤昌史主任研究員より「有用性について」のテーマで、それぞれ説明がありました。

その後のサンスター株式会社商品開発担当の南口智英課長からの「開発に当たって」の説明の際には、サンプルの試食も行われました。

当日は、30社を超える報道機関・出版社等の取材があり、広く周知を図ることができました。



加藤特任教授と後藤主任研究員



研究成果について説明する後藤主任研究員

「東日本大震災からの地域復興を考える
～弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会～」を開催

3月10日（火）、弘前大学ボランティアセンターは、弘前市及び弘前大学人文学部との共催で、「東日本大震災からの地域復興を考える～弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会～」をヒロロ4階弘前市民文化交流館ホールで開催しました。

当センターでは、発災直後から「チーム・オール弘前」として、岩手県野田村での支援・交流活動を継続してきました。また、支援活動の一環として本学の李永俊教員を代表とする研究グループでは生活の質（QOL）を重視した復興政策に関する研究活動を展開してきました。今回の報告会は、各国の災害への対応や災害から復興を成し遂げた先行事例を学び、これからの災害対策や復興政策作りに活かしていくことと、これまでのボランティア支援・交流活動を振り返り、これからの活動のあり方を模索することを目的に実施しました。

同報告会は3部構成で、市民・学生・教職員を合わせて約60名が参加しました。

第1部として、「東日本大震災からの地域復興を考える研究シンポジウム」が行われました。アメリカ・カリフォルニア州危機管理局前支部長ジェームス・D・ゴルト氏が「日本とアメリカ合衆国の緊急地震速報について」、フィリピン大学政策執行開発センター長エビネザー・フロラノ氏が「災害復興とレジリエンスのための住民自治：フィリピンの4事例について」と題して、講演を行いました。

第2部となる「弘前大学ボランティアセンター活動報告会」では、佐藤学長から開催の挨拶があり、続いて蛭名弘前市副市長による来賓挨拶がありました。京都大学大学院人間・環境学研究科准教授永田素彦氏から、「野田村における地域見守り・交流活動」と題した講演でチーム北リアスの活動等が紹介されました。また、ボランティアセンター学生事務局の宮川京大さんが野田村での活動について報告し、市民の赤石敏子さんからはタオル帽子作りにまつわる野田村との交流の様子が語られました。

第3部では「第4回市民ボランティア講座&ワークショップ」が開催されました。李永俊ボランティアセンター副センター長の開催挨拶があり、「どうする？これからの支援・交流活動について」と題してワークショップが行われました。ワークショップでは、野田村で行いたい活動について参加者らがアイデアを出し合い、各班が壇上でプレゼンテーションを行いました。

最後に大河原隆ボランティアセンター長から閉会の挨拶が述べられ、長時間の報告会は盛況のうちに閉会となりました。

なお、「チーム・オール弘前」による野田村復興支援・交流活動は平成27年度も引き続き行う予定です。



ワークショップに取り組む参加者ら



京都大学大学院人間・環境学研究科准教授永田素彦氏

弘前大学大学院地域社会研究科「地域フォーラム」を開催

弘前大学大学院地域社会研究科では、去る3月19日、弘前大学教育学部大教室において、徳島大学大学院玉真之介教授、鳥取大学地域学部澤田廉路特命准教授を講師に迎え、本学からは学長、理事のほかにコーディネーターとして北原啓司地域社会研究科長、講師として平井太郎准教授、パネリストとして大河原隆社会連携担当理事が参加し、弘前大学大学院地域社会研究科「地域フォーラム」を開催しました。

本フォーラムは、「真の地域連携とは何か—いま大学と地域に求められるもの—」をテーマに掲げ、真の意味での地域連携、地域活性化への貢献及び研究・教育の質の向上を目的に、先進的な取り組みを行っている大学の事例紹介やパネルディスカッションにより今後の地域社会研究の進展を考えるものとして開催したものです。

当日は、本学教職員・学生の他、青森県内の地方自治体、NPO法人、企業団体など各方面から多数の参加があり活発な意見が交わされました。

最後に北原地域社会研究科長から、創造性のある連携を重視すること、地域の中において知の拠点を作ることを意識する重要性、弘前大学らしい地域とのあり方をふまえ、一層の情報発信と連携・ネットワークを強めていくことが宣言され、また来年度は国際的なフォーラムに発展させ開催したい旨感想が述べられ閉会しました。



パネルディスカッションの様子



熱心に講演を聞き入る出席者

弘前大学永年勤続者表彰式を挙
～永年の功績を称える～

平成27年3月31日をもって退職される方々及び在職者に対する弘前大学永年勤続者表彰式が、3月23日(月)創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、理事・部局長等の列席の下に執り行われました。

式典では、佐藤 敬学長から退職表彰者並びに在職(20年)表彰者に対し、永年にわたり職務に精励されたその功績が称えられ、表彰状及び記念品が授与されました。

また、退職表彰者を代表して教育学部 大島 義晴 教授から、在職(20年)表彰者を代表して理工学研究科 飯倉 善和 教授から、それぞれ感慨を込めた謝辞が述べられました。

今回、表彰を受けられた方々は次のとおりです。

○退職表彰者 31名(敬称略)

人文学部	CARPENTER VICTOR LEE、諸岡道比古、植木 久行
教育学部	大島 義晴、齊藤 利男
医学研究科	木村 博人、馬場 秀明
保健学研究科	山辺 英彰、米坂 勸、對馬 均
医学部附属病院	坪 敏仁、藤田 祥子、藤森 明、辻 敏朗、水木恵美子 大溝 昌章、工藤千鶴子、木村 純子、石田 芳子、齋藤まり子 水木 幸子、佐藤久美子、竹浪 綾子、鎌田 桂子、山口るり子 小林たみ江、今 多喜子、三國セイ子
理工学研究科	氏家 良博
農学生命科学部	工藤 明、原田 竹雄



教育学部 大島 義晴 教授

○在職（20年）表彰者 34名（敬称略）

研究推進部	小倉 広実
人文学部	北島 誓子、宮坂 朋、林 明
教育学部	松本 敏治、田中 完、花屋 道子
医学研究科	若林 孝一、袴田 健一、横山 良仁、丹治 邦和、小豆畑早苗
医学部附属病院	佐藤 良法、原 悦子、大谷 雄彦、赤石 友子、森田 竹史 相馬真理子、對馬 雅子、古川 成子、石村美枝子、後藤 祐子 一戸亜紀子、阿保真貴子、中川 斉子
理工学研究科	飯倉 善和、笹川 和彦、川上 淳、須田 誠一
農学生命科学部	吉田 孝、東 信行、松山 信彦、須藤 宏樹
青森キャンパス	天坂 晃吏



理工学研究科 飯倉 善和 教授



佐藤学長と永年勤続表彰者

黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・田舎館村教育委員会との連携協定締結

本学教育学部及び大学院医学研究科は、黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・田舎館村教育委員会との間において、我が国における教育政策の大きな変化に伴う課題、そして青森県基本計画「未来を変える挑戦」に謳う未来の青森県づくりの基盤となる人財の育成、学校教育の充実、教員の資質・能力の向上などの課題に教育委員会と弘前大学双方が、手と手を取り合って取組み、さらに充実発展させることを目的に、相互の密接な連携・協力する協定を、平成27年3月25日に締結しました。

創立50周年記念会館岩木ホールで行われた協定締結式には、阿保黒石市教育委員会教育長、柴田平川市教育委員会教育長、武田藤崎町教育委員会教育長、木田大鰐町教育委員会教育長、金枝田舎館村教育委員会教育長が、本学から戸塚教育学部長及び中路医学研究科長が出席し、協定が締結されました。

本連携協定により、今後は、未来に生きる子どもたちが健やかに、そして逞しく生き抜いていくように、また、地域の教育力の向上と地域の教育活動の活性化のため、次の3点に関する新たな事業の展開に期待が寄せられています。

- ①「健康教養・健康教育」推進に関する各種事業
- ②「インクルーシブ教育」推進に関する各種事業
- ③小・中学校の教育活動や公民館等の教育施設で行われる地域の教育活動への本学学生派遣事業



連携協定締結式の様子

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
平成26年度弘前市長と加盟大学長との懇談会開催

弘前市内の6大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム（事務局：弘前大学）は、平成27年3月26日（木）に「平成26年度弘前市長と加盟大学長との懇談会」を弘前大学創立50周年記念会館2階の岩木ホールで開催しました。

この懇談会は、本コンソーシアムの地域における役割や、実施事業の方向性などを協議する場として毎年開催されているもので、今回は「学園都市ひろさきの持続的発展について～学生人口の維持に向けて～」をテーマに弘前市長と弘前市内6大学の学長等が意見交換を行いました。

その中で、「県外や県内他地域から来る学生に対して、弘前市のよいところや学生が住みよい街であることをもっと広くPRするべき」など、広報活動の重要性を指摘する意見が多く出されました。また、葛西憲之弘前市長からは、昨年度より実施している「コンソーシアム共通授業」について、弘前市の魅力を発信している弘前リードマンを活用したプログラムを組み込むなど、「街（弘前市）への愛着」が深まるような内容を期待したいとの意向が述べられました。

本コンソーシアムでは、来年度以降も弘前市の協力を得ながら、各機関の交流を深めるとともに地域課題解決にも関連する各種事業等を実施していく予定です。



意見を述べる佐藤学長



葛西憲之弘前市長

弘前大学八戸サテライト短命県返上「健康講座」開催

平成27年3月28日（土）八戸商工会館4階大会議室にて、「弘前大学八戸サテライト 短命県返上『健康講座』」を開催しました。

同講座では、男女とも平均寿命が全国最下位の青森県において、青森県南地域の住民を対象に、短命県返上「健康講座」を通して健康の大切さを幅広く理解してもらうとともに、弘前大学と青森県南地域とのさらなる連携の推進を図ることを目的として、平成27年3月28日から5月23日まで全8回の講義を予定しています。

同講座初回は、大河原八戸サテライト室長の開講挨拶の後、奈良岡八戸市副市長からご挨拶がありました。続いて、中路大学院医学研究科長から「青森県の平均寿命の現状と背景&健康教養」と題した講義が行われました。講義では、これまでの短命県返上を実現するための取り組みを紹介しながら、長野県や沖縄県などの平均寿命が長い県と比較し、青森県民の平均寿命が短い原因について説明がありました。なぜ健康が大切なのかを心理的な面やデータ、学識に基づいて解説し、楽しみながら健康づくりをすることの大切さを訴え、参加した107人の受講者らは熱心に耳を傾けるとともに、途中笑い声も響くなど楽しみながら学んでいました。

同講座には、当初の募集定員を超える多数の申込みがあり、幅広い年齢層の市民らが参加し、八戸市民の関心の高さがうかがえました。



中路大学院医学研究科長



説明を熱心に聴く受講者

諸会議

▼役員会

3月3日（火）

審議事項

1. 国立大学法人弘前大学職員懲戒等委員会において調査・審査すべき事案について
2. 年俸制の導入について
3. 教授会規程の一部改正について
4. 内部規則の総点検・見直しに係る諸規則等の改正について
5. 業務方法書の一部改正及び関連規則等の制定等について
6. 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について
7. 弘前大学名誉博士候補者の推薦について
8. 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について
9. 新たな「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」への対応について
10. 寄附講座の設置期間延長について
11. 男女共同参画推進室特任助教の選考について

報告事項

1. 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）の改正に伴う対応について
2. 弘前大学キャンパス内の期日前投票所開設について
3. 弘前大学における科研費応募・採択の経年推移について
4. 平成26年度弘前大学情報セキュリティセミナーについて
5. 弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会の開催について
6. SCU（脳卒中ケアユニット）及び女性医師職場復帰支援施設の整備について

3月16日（月）

審議事項

1. 国立大学法人弘前大学特別顧問について
2. 教員組織の再編について
3. 国立大学法人弘前大学保有個人情報管理規程の一部改正について
4. 平成27年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
5. 平成26年度教員業績評価及び組織評価の評価結果に基づくインセンティブについて
6. 規程の改正について
7. 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
8. 専任副学長の年俸額について

-
9. 国立大学法人弘前大学年俸制適用職員の号俸決定に係る基本方針について
 10. 平成27年度弘前大学当初予算（案）について
 11. 平成28年度概算要求方針（案）について
 12. 教育推進機構教育推進室教員の選考について
 13. 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正について

報告事項

1. 第3期中期目標・中期計画（案）について
2. 第2期中期目標期間評価における教育研究組織の現況分析の単位について
3. 平成27年度学都ひろさき未来基金事業計画について
4. 八戸サテライト「短命県返上「健康講座」の実施について
5. 平成26年度「弘前大学への地域課題研究委託事業研究成果発表会」の開催について
6. 青森市長による講演会「青森が目指す「地方創生」（仮題）」の開催について
7. 楽天野球団との連携事業講演会「日本一愛される球団になるために（仮題）」の開催について
8. 平成26年度弘前市防犯カメラ等設置事業の進捗について
9. 平成27年度弘前大学国内研究員派遣候補者について
10. 弘前大学次世代育成支援対策推進行動計画（第二期）案

その他

1. 事務職員（部課長）の異動について

▼教育研究評議会

3月10日（火）

審議事項

1. 人文学部、教育学部、理工学部及び農学生命科学部の改組について
2. 平成27年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
3. 弘前大学名誉博士候補者の推薦について
4. 教授会規程の一部改正について
5. 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について
6. 新たな「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」への対応について
7. 寄附講座の設置期間延長について
8. 弘前大学大学院保健学研究科規程の一部改正について

報告事項

1. 教員の採用等について
2. 内部規則の総点検・見直しに係る諸規則等の改正について
3. 業務方法書の一部改正及び関連規則等の制定等について
4. 年俸制の導入について
5. 青森県教育委員会との連携協定について

-
6. 弘前大学における科研費応募・採択の経年推移について
 7. 弘前大学連携大学院教育に関する規程に係る連携教員の委嘱について
 8. 白神自然環境研究所とロシア科学アカデミー極東支部ウラジオストク植物園研究所との部局間学術交流・協力協定の締結について
 9. 国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第 11 回追跡調査について
 10. 第 7 回資料館企画展について
 11. 委員会等報告
 - (1) 入学試験委員会 (2 月 13 日開催分)
 - (2) 21 世紀教育センター運営委員会 (2 月 19 日開催分)
 - (3) 資料館運営委員会報告について
 - (4) 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議報告 (1 月 22 日開催分)
 12. その他
 - (1) 弘前大学大学院地域社会研究科 地域フォーラムの開催について

▼経営協議会・教育研究評議会合同会議

3 月 17 日 (火)

協議事項

1. 平成 26 年度の総括及び今後の課題等について

▼教育委員会

3 月 25 日 (水)

審議事項

1. 平成 27 年度弘前大学教育委員会組織 (役割分担) について
2. 弘前大学高大連携公開講座の新規協定締結について
3. 弘前大学体育施設使用細則の一部改正について

報告事項

1. 平成 27 年度入学者 弘前大学ゆめ応援プロジェクト決定者数について
2. 「生活指導研修会」の開催について
3. 平成 26 年度課外活動団体リーダー研修会について
4. 学内ワークスタディー懇談会について
5. 平成 26 年度保護者・保証人アンケート集計結果について
6. 平成 26 年度学生ボランティア活動助成報告について
7. 課外活動団体の結成について

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年03月01日	助教(ＣＯＣ) [H31.3.31まで]	野口 拓郎	
H27年03月16日	助教(ＣＯＣ) [H31.3.31まで]	西村 君平	

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年03月01日	准教授(人文)	福田 進治	教授(人文)
H27年03月01日	助教(医)	浅野 クリスナ	講師(医)
H27年03月01日	助教(病院)	坂本 義之	講師(医)
H27年03月01日	助手(保)	牧野 美里	助教(保)

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年03月31日	経営協議会委員	山本 和之	辞任

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成27年3月2日	主任臨床検査技師(病・医技)	榎引 美穂子	復職
平成27年3月17日	看護師(病・看護)	中嶋 公美子	休職開始 [H27.3.31まで]
平成27年3月27日	看護師(病・看護)	小菅 恵子	復職

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年03月01日	薬剤師(病院・薬剤部)	西澤 三保子	職務復帰
H27年03月04日	准教授(農生)	高梨子 文恵	育児休業開始 [H27.3.26まで]
H27年03月09日	看護師(病院・看護)	附田 優美	育児休業開始 [H28.3.31まで]
H27年03月20日	助教(保)	高間木 静香	育児休業開始 [H28.1.29まで]
H27年03月22日	看護師(病院・看護)	沓澤 尚子	育児休業開始 [H28.3.31まで]
H27年03月27日	准教授(農生)	高梨子 文恵	職務復帰
H27年03月30日	看護師(病院・看護)	小田桐 佳央莉	育児休業開始 [H28.3.31まで]

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年03月19日	一般職員(財務・財企)	島田 裕介	退職
H27年03月19日	教授(人文)	柴田 英樹	死亡
H27年03月31日	自動車運転手(財務・契約)	石岡 博幸	定年退職
H27年03月31日	動物飼育員(医・動物実験)	馬場 秀明	定年退職
H27年03月31日	教授(人文)	植木 久行	定年退職
H27年03月31日	教授(人文)	諸岡 道比古	定年退職
H27年03月31日	教授(人文)	CARPENTER VICTOR LEE	定年退職
H27年03月31日	教授(教育)	齊藤 利男	定年退職
H27年03月31日	教授(教育)	大島 義晴	定年退職
H27年03月31日	教授(医)	木村 博人	定年退職
H27年03月31日	教授(保)	米坂 勸	定年退職
H27年03月31日	教授(保)	山辺 英彰	定年退職
H27年03月31日	教授(保)	對馬 均	定年退職
H27年03月31日	教授(理工)	氏家 良博	定年退職
H27年03月31日	教授(農生)	工藤 明	定年退職
H27年03月31日	教授(農生)	原田 竹雄	定年退職
H27年03月31日	副薬剤部長(病院・薬剤部)	藤田 祥子	定年退職
H27年03月31日	診療放射線技師長(病院・)	藤森 明	定年退職
H27年03月31日	副診療放射線技師長(病院)	辻 敏朗	定年退職
H27年03月31日	主任臨床検査技師(病院・)	水木 恵美子	定年退職
H27年03月31日	副看護師長(病院・看護)	石田 芳子	定年退職
H27年03月31日	副看護師長(病院・看護)	木村 純子	定年退職
H27年03月31日	副看護師長(病院・看護)	工藤 千鶴子	定年退職
H27年03月31日	副看護師長(病院・看護)	齋藤 まり子	定年退職
H27年03月31日	看護師(病院・看護)	小林 たみ江	定年退職
H27年03月31日	看護師(病院・看護)	竹浪 綾子	定年退職
H27年03月31日	看護師(病院・看護)	山口 るり子	定年退職
H27年03月31日	看護師(病院・看護)	今 多喜子	定年退職
H27年03月31日	看護師(病院・看護)	鎌田 桂子	定年退職
H27年03月31日	産学連携推進グループ係長	中山 信司	任期満了
H27年03月31日	教諭(教育・附小)	小田桐 光佑	任期満了
H27年03月31日	施設環境部長	天野 良	辞職
H27年03月31日	財務企画課長(財務)	奥田 晋三	辞職

H27年03月31日	教務課長（学務）	澤田 佳代	辞職
H27年03月31日	入試課長（学務）	林田 宏三	辞職
H27年03月31日	研究推進課長（研推）	大塚 克威	辞職
H27年03月31日	課長補佐（施設・施企）	土岐 欣一	辞職
H27年03月31日	主任（施設・環安）	花田 順士	辞職
H27年03月31日	一般職員（総務・広国）	藤井 美樹	辞職
H27年03月31日	一般職員（財務・財企）	南羽 真人	辞職
H27年03月31日	一般職員（人文）	三浦 真紀	辞職
H27年03月31日	一般職員（医）	高橋 智博	辞職
H27年03月31日	一般職員（病院・経調）	笹原 明史	辞職
H27年03月31日	教授（人文）	田中 一隆	辞職
H27年03月31日	教授（人文）	松井 太	辞職
H27年03月31日	教授（教育）	児玉 忠	辞職
H27年03月31日	教授（教育）	小嶋 英夫	辞職
H27年03月31日	准教授（人文）	岩田 一哲	辞職
H27年03月31日	准教授（医）	阪本 奈美子	辞職
H27年03月31日	准教授（医）	松井 淳	辞職
H27年03月31日	准教授（病院）	橋本 浩	辞職
H27年03月31日	准教授（病院）	坪 敏仁	辞職
H27年03月31日	准教授（病院）	村田 暁彦	辞職
H27年03月31日	准教授（COI）	菅原 貴征	辞職
H27年03月31日	准教授（21セ）	田中 正弘	辞職
H27年03月31日	講師（医）	右田 啓介	辞職
H27年03月31日	講師（医）	吉田 仁	辞職
H27年03月31日	講師（医）	阿部 直樹	辞職
H27年03月31日	講師（病院）	南場 淳司	辞職
H27年03月31日	講師（国際教育センター）	村山 陽平	辞職
H27年03月31日	助教（医）	太田 健	辞職
H27年03月31日	助教（医）	中村 邦彦	辞職
H27年03月31日	助教（医）	佐藤 江里	辞職
H27年03月31日	助教（医）	堤 伸二	辞職
H27年03月31日	助教（医）	清野 浩子	辞職
H27年03月31日	助教（医）	湯澤 映	辞職
H27年03月31日	助教（病院）	澁谷 修司	辞職
H27年03月31日	助教（病院）	久保 寛仁	辞職
H27年03月31日	助教（病院）	山下 真紀	辞職

H27年03月31日	助教（病院）	佐藤 知彦	辞職
H27年03月31日	助教（病院）	陳 俊輔	辞職
H27年03月31日	助教（病院）	澤田 匡宏	辞職
H27年03月31日	助教（理工）	本井 幸介	辞職
H27年03月31日	助教（理工）	山本 征法	辞職
H27年03月31日	助手（医）	佐々木 憲一	辞職
H27年03月31日	助手（医）	山内 早苗	辞職
H27年03月31日	助手（医）	工藤 朝香	辞職
H27年03月31日	助手（医）	石岡 陽菜	辞職
H27年03月31日	助手（医）	村澤 洋美	辞職
H27年03月31日	助手（保）	小池 祐士	辞職
H27年03月31日	助手（保）	小川 真理子	辞職
H27年03月31日	助手（病院）	橋本 浩二郎	辞職
H27年03月31日	助手（病院）	前田 周吾	辞職
H27年03月31日	助手（病院）	田中 大	辞職
H27年03月31日	助手（病院）	太田 圭一	辞職
H27年03月31日	助手（病院）	須藤 亜希子	辞職
H27年03月31日	助手（病院）	櫻庭 伸悟	辞職
H27年03月31日	助手（病院）	岡野 健介	辞職
H27年03月31日	教頭（教育・附小）	田澤 安昭	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附幼）	建部 美幸	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附小）	江良 多恵子	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附小）	古川 香	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附小）	八木橋 千佳子	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附小）	三浦 由美子	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附中）	鶴若 匠	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附中）	傳法 安子	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附中）	毛内 優子	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附中）	鳴海 光司	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・附中）	田崎 彰	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・特支）	笹森 由美子	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・特支）	佐藤 忠全	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・特支）	山口 由美	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・特支）	小田桐 敬	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・特支）	磯崎 みちる	辞職
H27年03月31日	教諭（教育・特支）	淋代 香織	辞職

H27年03月31日	主任作業療法士（病院・医技）	大溝 昌章	辞職
H27年03月31日	臨床検査技師（病院・医技）	赤石 友子	辞職
H27年03月31日	理学療法士（病院・医技）	福田 敦美	辞職
H27年03月31日	薬剤師（病院・薬剤部）	高橋 志織	辞職
H27年03月31日	副看護師長（病院・看護）	水木 幸子	辞職
H27年03月31日	副看護師長（病院・看護）	佐藤 久美子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	三國 セイ子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	藤森 薫	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	高城 淑子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	福士 尚美	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	相馬 知佳	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	工藤 加奈子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	餅田 佳奈美	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	片山 美央	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	鈴木 舞	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	高橋 育子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	佐藤 絵里香	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	藤田 恵美	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	竹谷 智美	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	菊池 沙貴	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	舘 沙央里	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	守岡 謙	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	北沢 健太	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	和田 朋子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	山田 康子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	長谷川 結香	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	對馬 陽子	辞職
H27年03月31日	看護師（病院・看護）	伊南 絵李奈	辞職

主要日誌

- 3月 2日 平成27年度 COI STREAM および「岩木健康増進プロジェクト」報告会開催
- 3日 役員会
- 3日 平成26年度弘前大学学生表彰を実施
- 3日 平成26年度弘前大学 COC シンポジウムを開催
- 6日 文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業
地域再生人材創出拠点の形成
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成26年度修了式
- 7日 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
「平成26年度学都弘前学生地域活動事業成果発表会」を開催
- 9日 平成26年度弘前大学情報セキュリティセミナーを開催
- 10日 教育研究評議会
- 10日 食品に応用できるユニークな新規プロテオグリカン複合体の開発
- 10日 東日本大震災からの地域振興を考える
－弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会－開催
- 16日 役員会
- 17日 経営協議会・教育研究評議会合同会議
- 19日 弘前大学大学院地域社会研究科「地域フォーラム」を開催
- 23日 弘前大学永年勤続者表彰式を挙行
- 24日 平成26年度弘前大学及び弘前大学大学院学位記授与式
- 25日 教育委員会
- 25日 黒石市・平川市・藤崎町・大鱈町・田舎館村教育委員会との連携協定締結
- 26日 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
平成26年度弘前市長と加盟大学長との懇談会開催
- 28日 弘前大学八戸サテライト短命県返上「健康講座」開催

学内規則

(平成27年3月20日改正)

○教員業績評価及び組織評価に係るインセンティブについて

組織評価の評価結果に基づくインセンティブについて、学長裁量経費からの配分に改めるため、上の裁定を一部改正した。

(平成27年3月20日改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

○弘前大学学則

○弘前大学大学院学則

○弘前大学学位規則ほか92件

(廃止)

○国立大学法人弘前大学外国人教師の契約手続等細則

○災害対策手当に関する申合せ

○平成23年4月1日における号俸の調整について

○平成24年5月1日における号俸の調整について

○平成25年4月1日における号俸の調整について

○弘前大学食料科学研究所企画運営委員会要項

学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律の施行に伴い、①学長(部局長)の決定を拘束する規定を見直すため、②権限者を明確にするため、③不要な規則、条文等の整理及び字句の修正ため、上記の規則等を一部改正及び廃止した。

(平成27年3月20日改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学災害対策規程

○国立大学法人弘前大学公益通報処理規程

○国立大学法人弘前大学監事監査規程

○国立大学法人弘前大学事務組織規程

(制定)

○国立大学法人弘前大学コンプライアンス基本規則

○国立大学法人弘前大学リスクマネジメント基本規則

○国立大学法人弘前大学理事の職務分担について

本学の業務の適正を確保するための体制等を整備するため、上記の規則等を制定及び一部改正した。

(平成27年3月20日改正)

○国立大学法人弘前大学保有個人情報管理規程

「独立行政法人等の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する指針」の改正に伴い、上の規程を一部改正した。

(平成27年3月20日改正)

○国立大学法人弘前大学研究者行動規範

○国立大学法人弘前大学の研究活動の不正行為への対応に関する規程

○国立大学法人弘前大学の研究活動の不正行為への対応に関する細則

文部科学大臣による「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」の制定に伴い上記の規範等を一部改正した。

(平成27年3月20日改正)

○弘前大学医学部附属病院規程

医学部附属病院において、患者支援体制の強化を図るため、総合患者支援センターを設置するため上記の規程を一部改正した。

(平成27年3月20日改正)

○弘前大学大学院保健学研究科規程

大学院保健学研究科において、専門的な教育体制を整えるとともに、博士前期課程から博士後期課程にかけて組織を見直しカリキュラム改正の行うため、上記の規程を一部改正した。

(平成27年3月26日改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

○国立大学法人弘前大学役員給与規程

○国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程

○国立大学法人弘前大学退職手当規程

○国立大学法人弘前大学特命教員給与細則

○国立大学法人弘前大学職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する細則

○国立大学法人弘前大学職員退職手当細則

○国立大学法人弘前大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則

○国立大学法人弘前大学職員の勤勉手当成績率決定基準

(制定)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程平成27年改正規程附則第3項等の規定による俸給に関する細則

○国立大学法人弘前大学職員給与規程平成27年改正規程附則第2項の規定に基づく号俸の調整について

(廃止)

○平成26年4月1日における号俸の調整について

国家公務員等において平成 26 年人事院勧告及び平成 26 年青森県人事委員会勧告に基づき改正した法等に準拠し、上記の規程等を一部改正及び制定等した。

(平成 27 年 3 月 27 日改正)

○国立大学法人弘前大学役員給与規程

非常勤役員について、その職責等に鑑み、日額から月額による給与支給をするため、上記の規程を一部改正した。

(平成 27 年 3 月 30 日改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学年俸制適用職員給与規程

○国立大学法人弘前大学職員退職手当規程

○国立大学法人弘前大学年俸制適用職員の号俸決定に係る基本方針

(制定)

○国立大学法人弘前大学年俸制適用職員給与規程の適用に係る取扱について

学長が年俸制の適用が適当と判断した職に就くこととなる大学教員の給与について定めたほか、従年の俸制適用者の俸給表の名称を変更するため、上記の規程等を一部改正及び制定した。

(平成 27 年 3 月 30 日改正等)

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員給与規程

○国立大学法人弘前大学契約職員就業規則

○国立大学法人契約職員等給与規程

○国立大学法人弘前大学年俸制適用職員給与規程

○国立大学法人弘前大学初任給調整手当支給細則

○初任給調整手当に関する取扱いについて

(廃止)

○国立大学法人弘前大学契約職員等給与規程第 4 条の規定に基づく初任給調整手当の支給について

医学部附属病院において診療業務に従事する医師又は歯科医師に対する初任給調整手当を見直し、たに業務に応じた手当を支給するため、上記の規程等を一部改正及び廃止した。

(平成 27 年 3 月 30 日改正)

○弘前大学体育施設使用細則

屋外体育施設照明設備使用料について、使用者負担の範囲を明確にするとともに課外活動団体学生の経済的な負軽減を図るため、上記の規程を一部改正した。

(平成 27 年 3 月 31 日改正)

○国立大学法人弘前大学寄附講座及び寄附研究部門規程

附置研究所に寄附講座及び寄附研究部門を設置する体制を整備するため、上記の規程を一部改正した。

(平成27年3月31日改正)

○国立大学法人弘前大学事務組織規程

○弘前大学サテライト規程

新たな東京事務所設置に伴う事務体制及び所掌業務の見直しのため、上記の規程を一部改正した。

弘前大学学報第132号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111